

質疑応答(要旨)

※いずれも議長である山田浩太代表取締役社長より回答

Q1	LiB再生事業について、プライムプラネットエナジー&ソリューションズ株式会社との関係について、相手方のホームページには当社についての記載が一切ないがその認識で間違いはないか。
A1	他社様のホームページの記載内容については、当社からコメントしかねる。 当社からIRさせていただいている通り、プライムプラネットエナジー&ソリューションズ株式会社で発生するLiB工程廃材の一部について当社がリサイクルを受託する契約を締結している。

Q2	LiB再生事業における、いわき工場の処理能力は何トンなのか。
A2	処理能力のトン数での表記につきましては、LiBのどの部分で換算するかによって数値が大きく異なるため、当社はEV台数で表記している。

Q3	2034年9月期のポートフォリオにある新規事業はどのようなものを考えているのか。
A3	無機材料分野での新規参入を検討している。 LiB再生事業にとどまらず、継続して新規事業に取り組むという点とそれを可能とする組織体制を構築することを10年後のビジョンとして示している。 新規事業の参入に際しても、当社のコア技術をもとに、貴金属事業やLiB再生事業で培った技術を応用して参入する。

Q4	LiB再生事業におけるリサイクル処理量として示しているEV台数はどのような車種で台数換算しているのか。
A4	当社が取扱いを想定しているEVを基準として試算し、台数を示している。 具体的な車種については、契約先との守秘義務に抵触する内容であり、回答しかねる。

Q5	2021年の説明では具体的なLiBスクラップの年間処理量をトン数で記載していた。なぜ直近の資料では定量的な数値についての言及がないのか。
A5	以前公表していたLiB再生事業の事業計画と本日ご説明した事業計画では、EVの生産・廃棄見通しや、レアメタルの回収率や環境負荷の低減といった外部から求められる水準が変化しており、以前の計画から変更が生じている。 そうした変化に伴い、処理量の見通しや工場の稼働開始時期などに変更が生じている。 以前の計画と比較することはできないが、プライムプラネットエナジー&ソリューションズ株式会社との提携により、リサイクル材を確保していることなど、事業は順調に進捗していると認識している。

Q6	プライムプラネットエナジー&ソリューションズ株式会社との提携により、同社からの資金援助等があるのか。
A6	個別契約に関するものであり、コメントしかねる。 当社にとって十分利益を確保できる対等な関係でのビジネスモデルであると認識している。

(ご留意事項)

この資料は、弊社説明会にご出席できなかった方のためのご参考として掲載しているものであり、説明会でお話した内容をそのまま文章に起こしたものではありませんことをご了承ください。